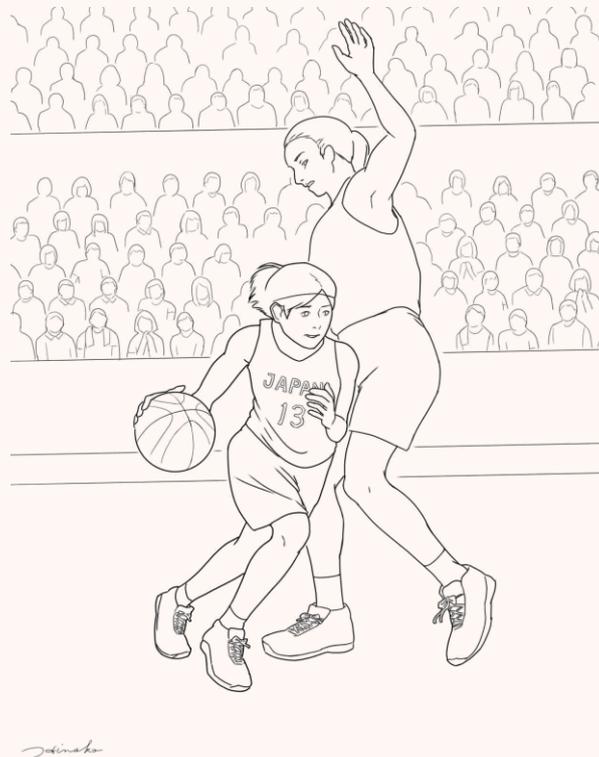


## ファンの複雑な気持ち

わたしはバスケットボールが好きだ。大好きだ。子どもの頃からバスケットをやっていて、今でもときどきやるし、試合をテレビやネットで見るとも大好きだ。コロナ・ウィルスのパンデミックが起こる前は、よく試合会場にも行って、好きなチームを応援していた。学生たちの試合から、プロ・チームの試合まで、バスケットの試合であれば何でも好きだ。毎月発売されるバスケット雑誌は30年以上欠かさず読んでいます。日本国内の試合だけではなく、海外の試合もできるだけ見ている。バスケットは、男子の試合も好きだけど、女子の試合の方が何倍もおもしろいと思う。体の大きさや背の高さ、力の強さではなく、頭を使ってチームで協力して試合に勝つ。そんな魅力が、女子バスケットにはある。わたしの「推し（好きなものや人、応援している人）」は女子バスケット、特に日本の女子バスケットだ。

でも、女子バスケットはなかなかメディアに注目されなかった。日本代表チームの試合も、テレビで見られるのは、ほとんど男子の試合だけだ。NHKのバスケット番組も、内容の9割は男子の話題だ。女子バスケットは、国内のトップ・リーグの試合でさえ、地方都市の小さな体育館で行われることがある。地元の中学生たちが選手用の椅子を並べたり、コートにモップをかけたりする中で行われる試合は、もちろん、テレビで放送されることはない。新聞や雑誌の関係者もほとんどいない。私自身は、小さな会場で選手たちを近いところから応援するのが好きだが、メディアが男子ばかり注目する状況を残念にも感じていた。

しかし、2021年の東京オリンピックをきっかけに、日本の女子バスケットを取り巻く環境は大きく変わった。決勝戦でアメリカに敗れたが、見事銀メダルを獲得したからだ。日本代表選手12人の平均身長は176cm。出場した12チームの中で、2番目に低かった。銅メダルのフランスは185cm、金メダルのアメリカは184cmだった。162cmの町田選手が190cm以上の、時には200cm以上の選手たちをドリブルで抜き去るのは爽快だった。この小さなチームの活躍は日本中の注目を集め、大会中も大会後も、メディアは女子バスケットを大きく取り上げた。連日、選手たちの顔をテレビや新聞で見えるようになった。ヘッド・コーチも注目され、彼に関する記事も毎日のように見かけた。銀メダルを「奇跡」と表現するメディアも多かった。



(Drawn by Hinako FUJIMURA)

ここで、長年の熱狂的な女子バスケ・ファンとして、声を大にして言いたい。

何年も前からずーっと、男子より女子の方が強かったじゃん！

……興奮してしまった。「強かったじゃん！」と言ってしまった。丁寧に言います、強かったですよね？

そう、日本の女子バスケは、東京オリンピックの前から世界的に認められていたのだ。男子の日本代表チームは東京まで45年間オリンピックに出場できなかった。東京に出場できたのも、「オリンピックが行われる国のチームは、出ることができる」という特別なルールがあったからだ。一方、女子は1996年、2004年、2016年と自分たちの実力でオリンピックに出場していた。1996年と2016年は、最終的に優勝したアメリカに敗れたが、小さくても、世界の大きなチームに勝てるということを証明した。東京オリンピックが始まる前の世界ランクも、男子は42位で女子は10位だった。10位といっても、日本は、自分たちより上位にいるいくつかの国々に、近年何度も勝っていた。

だから、わたしたち女子バスケ・ファンは、東京オリンピックでの活躍を、十分な根拠を持って、期待していたのだ。

さて、嬉しいことにオリンピック後は、多くのメディアで女子バスケが取り上げられるようになった。しかし古くからのファンとしては、少し複雑な気持ちだ。それまで全く有名ではなかった、私の「推し」の町田選手が、超のつくほどの有名人になってしまったからだ。今まで、国内のトップ・リーグの試合は観客が少なくてがらがらだったけど、たぶん、これからしばらくは、チケットを取るのが大変になるだろう。地方の小さな体育館で町田選手に気軽に握手をしてもらうということも、もうできなくなってしまうかもしれない。

注目されないと悔しい、でも注目されすぎるのも困る。「推し」を応援するファンの気持ちは、自分勝手に複雑なものだ。

(1699 字)

(2021.8 Written by Junko SATO)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.